

下記の事項を必ず守って作業してください

作業前点検を必ず行いましょう！

- ・ フレーム、アクティブフレームに損傷や亀裂はありませんか？
- ・ 取付けピン部のストップリングの脱落はありませんか？
- ・ ホースの外傷、ホース金具部より油漏れはありませんか？
- ・ 油圧シリンダからの油漏れはありませんか？
- ・ 各所のボルト・ナットの弛みや脱落はありませんか？
- ・ ツースやウエッジの摩耗状態はOKですか？
- ・ カッター刃の切断面はOKですか？
- ・ グリスの給脂は行いましたか？
- ・ 押し出された古いグリスはきれいにふき取りましたか？
- ・ ロッドカードの機能は果たしていますか？
- ・ 油圧ショベルのアームやリンクのガタツキはありませんか？
- ・ 油圧圧砕機モードに設定しましたか？

爪の摩耗限界は補修を！

爪が摩耗限界に達したときは、すみやかに爪の交換をしてください。摩耗した状態での作業は作業効率が悪いほか、油圧シリンダ等への負荷がかかることでいろいろな故障の原因になります。

ストロークエンド作業の注意！

バケットシリンダがストロークエンドの状態では思わぬ外部の力でバケットシリンダのロッドの曲がりやロッドの抜け、リンクの曲がりなどの破損事故につながります。他のアームシリンダ、ブームシリンダも同じですので注意してください。

（ストロークエンドとは、ロッドが伸びきった状態または縮みきった状態のことを言います）

転倒注意！

履帯に対してブームが横向きでの作業は、安定性が悪く制限質量以上のものを持ち上げると、油圧ショベルが浮き上がったり、転倒する恐れがあります。ブーム&アームをいっぱい伸ばした状態で持ち上げると転倒する危険があります。また、不安定な場所での作業は危険ですので、作業現場や走路は平坦に。建物内では床の強度を点検し、床の崩壊に注意してください。

小割機の基礎解体はダメ！

小割圧砕機で基礎解体作業は行わないでください。噛む力で油圧ショベルや圧砕機の破損事故を引き起こします。

作業領域への立入禁止！

小割圧砕機の作業領域と油圧ショベルの作業領域は危険領域です。立入禁止処置をするとともに、旋回時には周囲や頭上の障害物に注意してください。

指定作業以外の禁止！

小割機本体を使っただけののならし作業は禁止です。

油圧ショベルのジャッキアップは禁止です。油圧ショベルのブーム・アーム等に無理な力がはたらき双方の故障の原因になります。

クレーン作業は禁止されています。